

FHJ第39回ホームプロジェクトコンクール 最優秀賞受賞！！

<研究テーマ>

「まだ大丈夫！」を「まず避難しよう！」に意識改革 ～おばあちゃんを自然災害から守るためのFirst Step～ 服飾デザイン科 2年 清水 紗花さん

<研究の概要>

ここ数年、日本各地で豪雨災害が起こっており、自分の住む揖斐川町小島地区でも豪雨時には気象警報が長時間発令され、避難勧告が出ることも、そんな時、しばらく忘れていた幼い頃の災害体験の恐怖を思い出し、現在も災害危険地域に住んでいる祖母が気がかりで、何とかして祖母をいち早く安全な場所に避難させたいという思いから本研究を実施。

1 実態調査

- (1) 祖母宅と自宅の立地条件と避難所への距離確認
- (2) 災害時の実態と避難について祖母にインタビュー
- (3) 市町村の防災対策リサーチ
- (4) 問題点の把握…ハザードマップが有効活用されていないこと、災害時の危険な心理状態が避難行動を妨げているという2点。

2 研究実践

- (1) 祖母と避難経路確認・持ち出し品準備・避難所確認
- (2) 「小島地区 みんなで避難！安全安心マップ」の作成
- (3) 「正常性バイアス」を防ぐため私たちができることを実践

3 祖母の感想…意識の変化を確認

4 反省評価と今後の課題

表彰式会場にて→

安全な避難行動を促すための first step として在宅地域ごとに安全な避難経路が確認できるハザードマップの整備や、非常持ち出し品を準備しておくなどの物的整備と「まずは避難しよう！」という住民の意識改革が必要、今後は地域の状況変化に合わせハザードマップの改訂版を作成し配布するなどし、地域の人々に啓発したい。

最優秀賞を受賞し、驚きとともに協力してくれた祖母や家族、指導してくださった先生に感謝の気持ちで一杯です。この受賞を祖母に伝えた時「本当にありがとう」と涙ぐんで喜んでくれました。

祖母と一緒に基本的な防災対策から進めましたが、先生のアドバイスで、過去の災害体験と近年の防災対策の課題を調査してみると災害時に避難行動をとるかたらないかという根本的な部分に人間の心理的課題が潜んでいることを知りました。この容易には解決できない問題に直面し、祖母を自然災害から守るために始めた研究でしたが、地域住民すべての防災に対する意識改革にもつながるよう研究を発展させることができました。

今後も家族や地域のために私にできることは何かを考え、貢献したいです。



オリジナルハザードマップ

